

# 2010年・2015年の通信端末関連市場規模予測試算結果

2007年6月6日

株式会社電通総研

# 想定市場項目（端末・関連市場）及び試算の元となる出典

カテゴリー	主な端末・関連市場		主な出典
A 従来型の端末とその関連市場	端末	PC、携帯電話、電話機、ITS車載器(ETC・DSRC)、ICカード、ICタグ、キオスク端末、店舗決済端末、業務用モバイル端末、自動改札機、電子書籍端末、監視カメラ 等	経済産業省『機械統計』、(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会『パソコンソフトウェアの市場動向調査報告書』、(社)電子情報技術産業協会『民生用電子機器データ集』等の各年版
	関連市場	映像・音楽・ゲーム・電子書籍コンテンツ、認証・決済プラットフォーム、救急医療プラットフォーム、広告プラットフォーム、業務用アプリケーション、ITSサービス、位置情報サービス、ホームセキュリティ機器、放送・通信(※1)、インターネット付随サービス(※2) 等	(財)デジタルコンテンツ協会『デジタルコンテンツ白書』、総務省『情報通信白書』、総務省『衛星放送の現状』、総務省『通信産業基本調査』(株)電通総研『情報メディア白書』等の各年版
B 様々な機器が通信端末化して生まれる市場	端末	テレビ、据え置き型デジタルAV端末、ポータブルAV端末、エアコン、空調機器、冷蔵庫、トイレ、警報装置、ゲーム機、システムキッチン、汎用カメラ、腕時計、家庭用健康機器、OA機器、自動販売機、電子辞書、カーオーディオ、カーナビ、可視光通信対応照明器具 等	(財)光産業技術振興協会『光産業動向調査』、経済産業省『機械統計』、(社)ビジネス機械・情報システム産業協会『事務機械の出荷実績』、厚生労働省『薬事工業生産動態統計』等の各年版、及び「可視光通信コンソーシアム資料」
	関連市場	電子行政プラットフォーム、家電コントロールサービス、健康管理・診断サービス、アーケードゲームオペレーション 等	国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』、総務省『国勢調査』、(社)日本アミューズメントマシン工業協会(JAMMA)、(社)全日本アミューズメント施設営業者協会連合会、日本SC遊園協会『アミューズメント産業界の実態調査』等の各年版
C 全く新しいタイプの端末が登場し、生まれる市場	端末	電子ペーパー、ロボット、ウェアラブル端末、車いす、次世代教育用端末・教材機器 等	(社)電子情報技術産業協会『情報端末装置に関する市場調査報告書』、経済産業省『機械統計』等の各年版
	関連市場	次世代オフィスサービス、生活関連情報サービス、オートメンテナンスサービス、シンクライアント向け情報サービス、多言語翻訳サービス 等	総務省『情報通信白書』、『国勢調査』、(株)電通総研『情報メディア白書』等の各年版

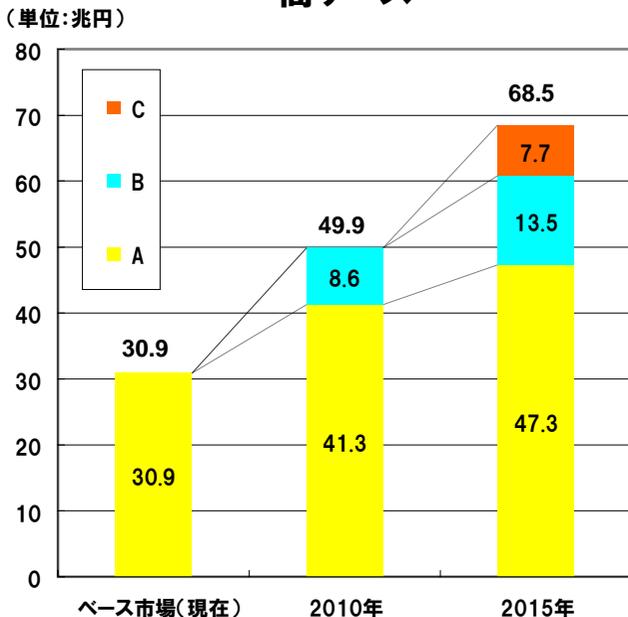
※1 「放送・通信」の内訳については、放送は「NHKおよび地上波民放テレビ営業収入のうち放送事業費と、衛星放送(NHKを含むBSとCS)の営業収益、ケーブルテレビ事業の営業収益」が対象となっており、通信は「電気通信事業者の音声伝送・データ伝送・専用の売上高」が対象となっている。

※2 「インターネット付随サービス業」はサーバ・ハウジング業、ASPが対象となっている。

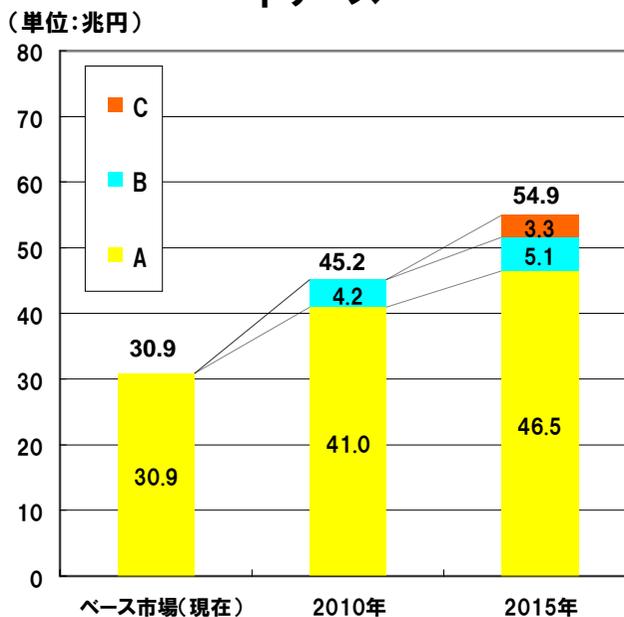
# ケース別試算結果 ①接続性・利便性

- 「接続性」と「利便性」の影響度をもとに高・中・低ケースの市場規模の試算を行った。「基準」となる高ケースの2010年の市場規模49.9兆円に対して、中ケースでは45.2兆円、低ケースでは約42.6兆円となった。
- 2015年では、高ケースの約68.5兆円に対して、中ケースでは約54.9兆円、低ケースでは約49.1兆円という結果になった。

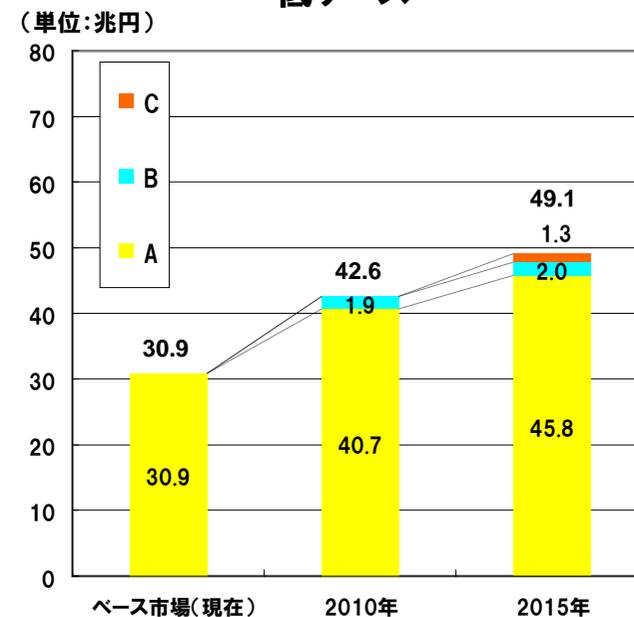
### 高ケース



### 中ケース



### 低ケース



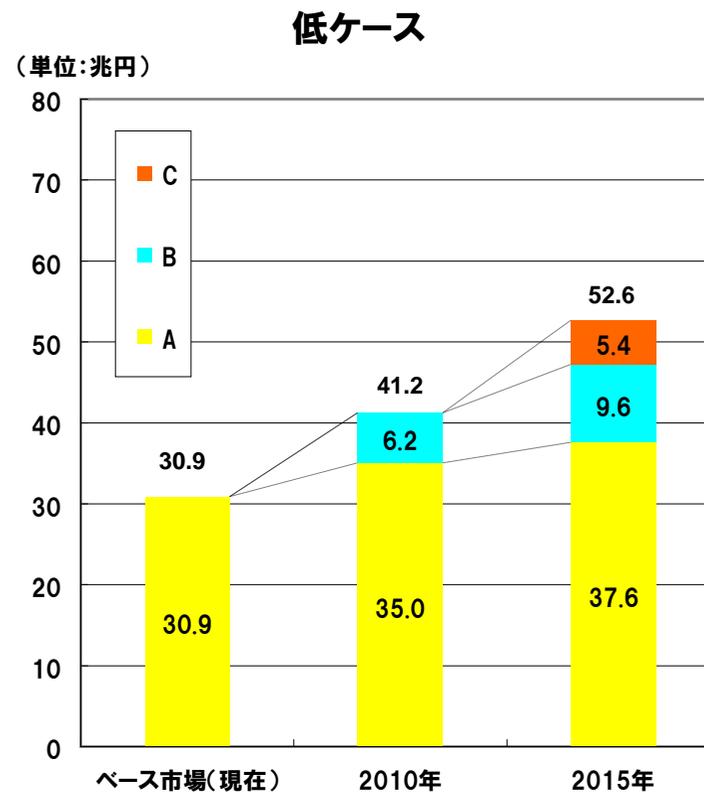
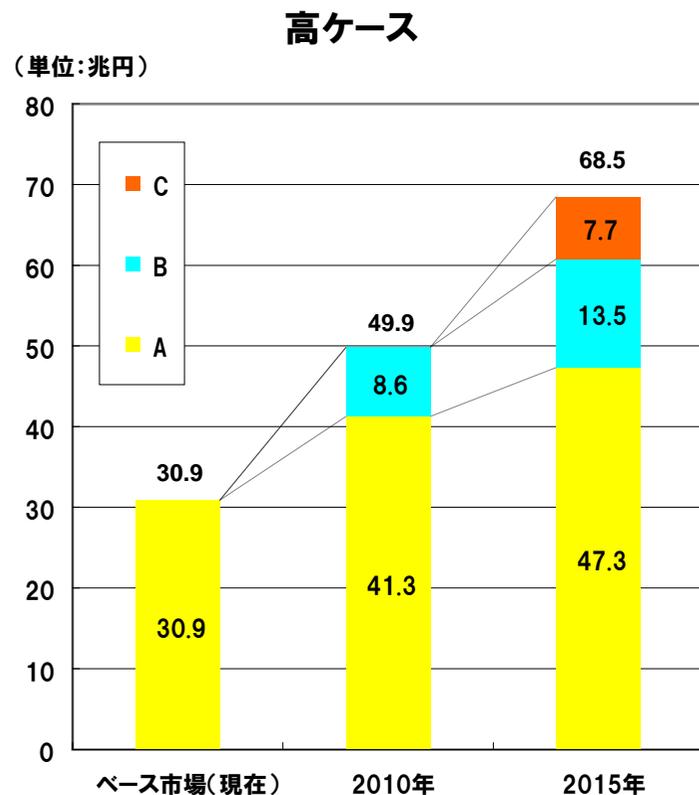
A) 従来の通信端末とそのサービス市場

B) 様々な機器が通信端末化して生まれる市場

C) 全く新しいタイプの端末が登場し、生まれる市場

## ケース別試算結果 ②安全性

- 「接続性・利便性」のケース別試算と同様に、「安全性」の影響度をもとに高・低ケースの市場規模の試算を行った。
- 「基準」となる高ケースの2010年の市場規模約49.9兆円に対して、低ケースでは約41.2兆円となった。
- 2015年では、高ケースの約68.5兆円に対して、低ケースでは約52.6兆円という結果になった。



## 「映像・音楽・ゲーム・電子書籍」市場の試算（前々回試算結果の訂正）

- 「映像・音楽・ゲーム・電子書籍」市場の試算を再度行った結果、2010年では1兆2420億円で、2015年では2兆6280億円となった。
- 参考までに、①接続性・利便性、②安全性のケース別の試算も以下に記す。

ケース指標	ケース	2010年	2015年
①接続性・利便性	高ケース	1兆2420億円	2兆6280億円
	中ケース	9070億円	1兆7390億円
	低ケース	6550億円	1兆710億円
②安全性	高ケース	1兆2420億円	2兆6280億円
	低ケース	7280億円	1兆640億円